



志清同友会
ふくはら としひろ
福原 敏弘
議員

公共施設等整備基金について

問 老朽化した施設の改修計画は。安全・安心な施設の利用や、整備基金の目的および今後の積立額についての考えは。

答 基金の設置は、公共施設・インフラ施設の大規模改修等に要する資金不足に備えることを目的としている。現在6割を超える公共施設が築30年以上を経過しており、今年3月に発表した公共施設等総合管理計画では今後40年間の更新費用について、適切な予防保全を実施したとしても毎年平均42億6,000万円の歳出が見込まれると試算している。施設改修については、毎年の予算状況を踏まえ、総合管理計画および

個別施設計画に基づき、安全性・利便性の観点から優先順位を見直しながら順次進めていきたいと考えている。また、積立額については、大規模改修費用に係る一般財源の歳出増については、過去3年平均一般財源額と比較すると毎年平均しておよそ2億3,000万円の増額となることが予想されており、令和3年度には当該基金に8億9,000万円を積み立てたが、現在の基金残高を基にすると、約3年分を賅うにとどまる。市の収支に関する中長期的なシミュレーションと単年度収支が赤字とならないために、この基金の運用は大変重要と認識しており、今後も余剰金を計画的に積み立てていく。



市民創世会
だいもん よしかず
大門 嘉和
議員

神明苑のこれからについて

問 市の大切な財産である神明苑閉苑の方針を出すに当たり、指定管理者や議会と十分に話し合ったか。

答 市長 市民説明会や区長会連合会、神明地区区長会などに経緯の説明や現場視察等を行っていただいたが、新しい施設の概要等を示せなかったため、対話としては十分でなかったと理解している。今後は神明苑外部検討委員会で市の考え方を示し、市民や利用者に対する説明会を開催しながら、対話を図ってまいりたい。

問 温浴施設は残すべきではないか。

答 今の源泉を活用した温浴施設の維持は困難と判断している。しかし、温泉とい

う市の資産の活用については、今後外部検討委員会としっかり協議していきたい。

意見 敷地内に新たな井戸を掘るなどの対策を今から考えてもいいのではないか。

問 体育館の今後の方針は

答 体育館の継続については、内部検討会にて、神明苑本体と併せて取り壊すか、残すかを検討してきた。今後は、外部検討委員会に諮り、検討していく。



神明苑附属体育館アリーナ



市民創世会
すいづ たつお
水津 達夫
議員

鯖江駅東口等整備事業について

問 整備費はどれくらいを想定しているのか。

答 25億円程度と試算している。

問 25億円の積算根拠は。

答 主にこれまでの類似施設の工事費から求めた単価を参考にし、現状での建築資材価格を加味し、そこに鯖江駅の改修に関する工事に支障となる電線や電気信号ケーブルの移設普旧も考慮して算出している。

問 整備事業費の財源は。

答 国や県の補助事業等の活用について、国・県との事前協議を進めている。可能な限り交付金措置のある起債を活用することで市の実質負担を減らしながら整備を進めていきたい。

問 駅の東西のまちづくりについて、どのように進めていくのか。

答 市長 西口については、市民や市民団体、地元の商店街等からアイデアをいただきながら地域資源の磨き上げに取り組んでいく。東口については、東口の整備による新たな鯖江の玄関口として機能を生かしたソフト面での仕掛けを行い、鯖江や丹南地域の魅力アップにつなげていきたい。



JR 鯖江駅